

城崎町湯島財産区議会



2018年8月 No.88

中学2年生の「トライやる・ウィーク」での作業の様子

六月定例会
(6月21日)

(6月21日)

平成30年度豊岡市城崎町
湯島財産区特別会計補正予算（第1号）

平成30年度豊岡市城崎町湯島財産区特別会計補正予算(第1号)は、賛成多数で可決しました。

補正予算の主な内容は、浴場の脱衣ロッカー鍵持ち帰り防止用のセキュリティゲートの購入費用として備品購入費60万円を増額し、配湯所の配湯ポンプ2台の更新費用として工事請負費500万円を増額されています。

浴場委託者等業務の内容について

6月の定例会では、次のような一般質問を行いました。
質問及び答弁の趣旨は区議会広報委員会で編さんされたものです。

場環境の改善に繋がると考えます。

問
垣谷議員

外湯での委託者や職員の対応は、城崎温泉全体の印象に大きく関わります。外湯設備の運転や管理、施設全体の清掃管理はもとより、お客様への対応方法について、標準的なサービスはどういうに周知されていますか。また、安全の為の日常的に行なう業務内容は明確なものがありですか。

外国人入浴者への対応方法も含めた業務内容の見直しが、職

管中興長

新規参入者へは、事務所で基
本的な業務内容などを説明し、
また浴場で設備機器の運転操作
や衛生管理などについて引継ぎ
を行い、その後、約1週間ベテ
ラン職員を配置し、その中で接
客についても指導にあたってい
ます。また、市が実施している
接遇研修へも参加しています。
お客様からの苦情は特に繁忙
期に多いので、職場環境の改善

湯の華だより

として、今年度「地蔵湯」「鴻の湯」の下足箱整備工事の実施、数十か国の言語に対応する翻訳機も配備済みであり、委託者や浴場職員への負担を軽減できるよう考えています。

議員報酬等を問う

木下議員

来年は財産区議会議員選挙の年です。議員は名譽職ではありません。議会を設置している限り、議員が日常的に議会活動に専念できる報酬等が、保障されなければなりません。

財産区の財政状況を考慮して、報酬は低ければ低いほどよいとの考え方だと、生活が安定している人しか立候補できないので、公職選挙法の被選挙権を侵すことにならないかと考えます。それには、温泉利用料金を正しく検討するべきです。

女性、障害者も立候補できる開かれた多くの区民の立場に立った議会となるよう要求します。

中貝市長

市議会議員の場合は報酬等審議会で、他自治体の水準、経済状況、民間企業の報酬等々を審議してもらい決めていくことになりますが、財産区の場合は、比べるべき他の団体もなかなか

無く、適正な報酬がいくらなのか判断が難しいように思います。また、財産区という財産を維持する、管理するという一つの論点でもって、日々の生活ができるほどの報酬をもし出すとするなど、とても区民の理解は得られないのではないかと思います。

これを見ましても、難しいものと考えます。

これまでから、財産区の議員の皆様におかれましては、財政状況が悪いときには自ら報酬を減額して乗り切つていただく等のご努力をしていただいている、これも地域に対する愛着、城崎温泉を守るという思いのあらわれだと思っておりますので、皆様の心意気に今後とも期待してまいりたいと考えています。

木下議員

外湯の温度設定の根拠を問う

木下議員

区民の常連は「この頃は熱いなあとか、ぬるいなあ」と話しあっている。外湯の基本的な温度設定の根拠を問う。

市広報によると6月号に、季節によって湯温の差が大きいと、心疾患、脳梗塞、場合によっては死に至る。予防の一つに41℃が適温とあった。昔の外湯は高

一般的に40℃から43℃が適当であると言られています。また、環境省から都道府県知事宛てに出されている「温泉法第18条第1項の規定に基づく禁忌症入浴又は飲用上の注意の掲示等の基準」において、「高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上での高温浴は避けること」とされていることから、城崎温泉の外湯については、42℃を基準に41℃から43℃の範囲になるように設定しております。また、一部の外湯においては住民の皆さんにより43℃で設定しております。

また、熱いお風呂とそうでないお風呂を分けて作るのも一つの方法ではありますが、経営的に影響があるかないかを検討する必要がありますので、まずは温度設定の考え方を示し、住民の方や観光客の方に理解を求めしていくことが、大切なのはな

ります。ついで、人材確保に向けて一層の工夫と努力を要望するとあります、現在でも人材不足であります、現在でも人材不足であり、具体的な対応策を問う。

中貝市長

財産区は多くの財産を保有して、浴場経営を行っており、経営状況の明確化、経営の弾力化、経営意識の向上、資産の有効活用といった点を考えると公営企業会計に移行するメリットがあると考えています。しかしながら、現在保有している財産の評価が難しい等の課題もありますので、直ちに移行するのは困難な状況にあります。ただ、豊岡市の他会計の動向を見ながら、前向きには対応していくたいと考えています。

財産区定期監査及び行政監査結果報告について

藤原議員

平成30年3月8日付の湯島財産区定期監査及び行政監査結果報告の要望事項として、当財産区は他会計に依存しない独立した会計であるが、将来を見据え、現在の現金主義会計方式から公営企業方式へ移行されるよう要望するところですが、将来的に

会計方式を変更するつもりはあるのか。

また、温泉浴場の管理委託についても、人材確保に向けて一層の工夫と努力を要望するとあります、現在でも人材不足であります、現在でも人材不足であり、具体的な対応策を問う。

中貝市長



改修予定の「鴻の湯」玄関周り

湯の華だより

になると説明を受けました。

冬場は、長靴利用のお客様が多い為、長靴用ロッカーの数の検討を要望しました。また、現地にてカウンターの位置、ゆめぱ機器の設置場所等を確認し、外湯利用客の動線を確認しました。

▼「地蔵湯」の玄関下足箱と2階休憩スペースの整備工事について

▼「さとの湯」洋風露天の
タイル修繕工事について
洋風露天の浴槽内のタイルが
盛り上がる等している為、9月
に豊岡市による修繕工事が実施
されると説明を受けました。

中学2年生が地域社会での実験を通して多くのことを学んでいくため、5月28日（月）から「トライやる・ワイーク」が行われました。城崎温泉の外湯では、6月1日（金）まで城崎中学校の生徒（男子4名）を受入れ、接客業務や清掃業務のほか、湯島区域外へのタンクドリートでの配湯業務や「しおぶ湯」に使う菖蒲の準備など、1日頃できない体験をしていただきました。

トライやる外湯業務を 体験

6月21日に、「28号泉源(ロ一
プウエイ下)」「鴻の湯」「まん
だら湯」「御所の湯」「さとの湯」
の視察を行い、改修予定の箇所
の確認や現状の確認を行いまし
た。

脱衣室ロッカートレイを持ち帰る
ケースが多いので、出口にゲートを作り、鍵をもって外に出ようとする、警告音が鳴るような装置の設置を検討している。費用は、60万円程度かかり、
「御所の湯」で試験的に導入し、効果を確認したいと説明を受けました。

参加された中学生の感想（抜粋）

外湯の業務を体験した生徒は、この体験を通して、多くのことを学ばれたようです。

今後の学校生活や、将来の社会生活に少しでも役立つことを期待しています。お疲れ様でした。

げの手間を省き、浴場職員の学習環境の改善を図るため、下口箱の整備を行いました。これに伴い、1階にあつた休憩スペースを2階に移動しました。

工事期間中は大変ご迷惑をおかけしましたが、ご理解、ご協力

当成一堵止水板上擦壁

「地蔵湯」玄関下足箱及び2階休憩スペース整備工事を実施しました

全てのお客様に下足箱を利用
してもらうことで下駄の上げ下

《5月》
15日 10日 総務財産常任委員会
15日 溫泉常任委員会
21日 《6月》
21日 第15回城崎町湯島財産
区議会定例会
21日 沿場視察
《7月》
9日 総務財産常任委員会
《8月》
2日 広報委員会

区議会の動き